

明恵上人生誕850周年記念事業 能「春日龍神」上演会

入場
無料
※要申込

問申 教育委員会歴史文化財係 (19)20番窓口 Tel.64-1128



施無畏寺 奥の院(開山堂)

2023年は明恵上人が生まれて850周年にあたります。この節目の年に、明恵上人ゆかりのお寺である栖原・施無畏寺にて、明恵上人が登場する能「春日龍神」を上演します。

当日は、現地会場のほか、その様子を生中継で観覧いただける役場会場（明恵上人や能楽についての解説付き）を設けます。皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日 10月1日(日)

【現地会場】

会場 施無畏寺

奥の院（開山堂前）特設舞台

※駐車場を別途用意し会場へ送迎します。

詳細は当選者にお知らせします。

時間 15時30分～17時終演予定

定員 100名



明恵上人坐像(開山堂安置)

【役場会場】

会場 湯浅町役場3階 なぎホール

時間 14時30分～17時終演予定

※上演前に「明恵上人」「能楽の見方」の解説があります。

定員 150名

募集期間 8月7日(日)～8月31日(土)

申込方法

窓口、電話、二次元コード

よりお申込みください。

Tel.64・1128

(平日8時30分～17時15分)



※応募時に、現地・役場会場のどちらを希望するかお伝えください。

抽選について

・定員を上回る応募があった場合は、抽選により決定します。

・詳細を記した案内の発送をもって、当選者の発表にかえさせていただきます。

・抽選の結果、選外となった方は、役場会場の観覧をご案内します。(空きがある場合のみ)

・詳細を記した案内の発送をもって、当選者の発表にかえさせていただきます。

能「春日龍神」と明恵上人

明恵上人は、湯浅宗重の外孫（娘の子）として、承安3年（1173）に生まれました。幼くして両親を亡くし、仏門に入った明恵は、23歳の時に静かな修行の地を求めて、栖原の白上山に入りました。自らの耳を切り仏に身を捧げたり、湯浅湾に浮かぶ荊藻島に渡ってひたすら読経を行ったりと、厳しい修行を行ったと言われています。かたわら、月を愛でる歌を多く残したり、自らの夢を記した日記を残したりと、人間味のある側面を持つ人物としても知られています。

能「春日龍神」は、明恵上人が天竺（インド）へ渡ろうと計画するものの、春日明神の宣託により断念をした逸話から元になった演目で、能楽が芸能として成立した室町時代には演じられ始めていた古典作品です。明恵上人の天竺行きを留めようと登場する龍神の姿は躍動的でも優美なものです。



能 春日龍神